

# 吉祥女子中高新聞速報版

発行 吉祥女子中学校高校出版部

〒一八〇〇〇〇二

東京都武蔵野市吉祥寺東町  
四一二二二〇

## 門ゲート

# 写真で表現したグローバル化

## 第79回吉祥祭



今年の吉祥祭テーマは「グローバル化」である。グローバル化とは政治・経済的・文化的な関連が地球規模で広がることを指す。毎年、正門裏にあるゲートはテーマを表現し、来校者を迎える。

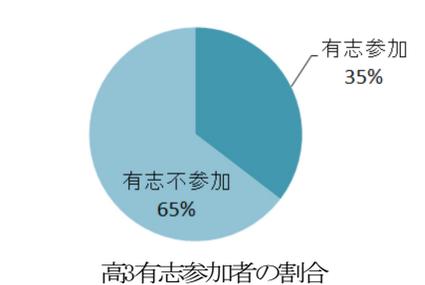
このゲートは、有志でゲート制作委員会を作り、制作を行っている。ゲート制作委員長（2年3組）にゲートがこの形になった意図を聞くと、まず「グローバル化」という言葉から連想できる写真を集めた」と語ってくれた。集めた写真はドローン、渋谷のスクランブル交差点、国連本部、グーグルのロゴ、北極のシロクマなどである。来場者にはその写真を見せ、グローバル化を感じ取ってほしいと、特に注目してほしいのは宇宙飛行士の写真です。色々な国が協力して宇宙開発に取り

吉祥祭期間中の高3の登校は任意であり、吉祥祭1日目は200人、2日目は171人が登校する。その中で有志団体として参加するのは、90人弱で、喫茶2団体、芸能1団体となった。喫茶団体は昨年が3団体だったのに対して、今年は2団体となり、1団体少ない。例年は参加を希望する団体が多く、人数の少ない団体

## 高3有志参加率35%

吉祥祭期間中の高3の登校は任意であり、吉祥祭1日目は200人、2日目は171人が登校する。その中で有志団体として参加するのは、90人弱で、喫茶2団体、芸能1団体となった。喫茶団体は昨年が3団体だったのに対して、今年は2団体となり、1団体少ない。例年は参加を希望する団体が多く、人数の少ない団体

が合併することも多かったが、今年は参加団体の希望数が少なく、すんなりと決まった。高3の吉祥祭参加について喫茶団体の責任者Aさん（3年2組）とBさん（3年3組）に話を聞いた。Aさんのグループは弓道部の14人が参加している。参加理由について「今まで先輩も有志として参加する



高3にとっては最後の吉祥祭だ。楽しみ、楽しませたいという熱意を持った高3に注目したい。（記者署名）

今年、吉祥祭は79回目を迎える。そこで、1979年に世の中で流行ったことを調べた。ここで取り上げるのは流行語についてである。昨年の流行語は、『神ってる』や『PPAP』、『ポケモンGO』であった。1979年の流行語の中で印象的なものは、元プロ野球選手江川卓さんの苗字に「る」

を形にするゲートエンジニアを中心に決めたという。ゲートの制作には夏休みのほとんどの時間を費やした。さらに、今年のゲート制作委員は過去最少の21人であったため、例年より苦労が多かったとされた。

本風の門を作成することだった。今までの吉祥祭では作ったことがなかったため、門の構造を市販のペーパークラフトを使って理解した。アイデアが詰まったゲートを是非注目して見て欲しい。（記者署名）

多く、また女性の社会進出が始まった頃ならではの単語もあった。若者の間では、今も昔も変わらず略語を好む傾向があるようだ。また、『ナウイ』は英語を含んでおり、英語教育が活発化し、世の中に浸透したと分かる。このように流行語から時代背景などを多く知ることが出来る。2面では、流行語以外にも当時社会現象となったウォークマンと現代のスマホを比べた詳細記事がある。（記者署名）

学校は社会の縮図だ」という言葉が一度は聞いたことがあるだろうか。哲学者J・デューイが同じようなことを言っている。デューイは『民主主義と教育』や『学校と社会』などの著作で知られ、教育者でもある。第一次世界大戦という時代背景の中で、民主主義の再建や社会改革の手段として学校教育を重視していた。デューイは教育の役割とは、子どもたちに社会をつくり直していく力をつけることだと説いている。そのために学校そのものを小型の「社会」、子どもの生活の場としての「共同体」にしていくことが大切だとした。

学校を一つの社会として日々つくり直すためには、他者とのコミュニケーションが大切だ。新聞を作るときも企画を立てた後、それを記者に依頼する際にきちんと意図が伝わらないことがある。些細なことさえ、人にモノを伝えるということの難しさを実感する。

今年、吉祥祭は79回目を迎える。そこで、1979年に世の中で流行ったことを調べた。ここで取り上げるのは流行語についてである。昨年の流行語は、『神ってる』や『PPAP』、『ポケモンGO』であった。1979年の流行語の中で印象的なものは、元プロ野球選手江川卓さんの苗字に「る」

を形にするゲートエンジニアを中心に決めたという。ゲートの制作には夏休みのほとんどの時間を費やした。さらに、今年のゲート制作委員は過去最少の21人であったため、例年より苦労が多かったとされた。

本風の門を作成することだった。今までの吉祥祭では作ったことがなかったため、門の構造を市販のペーパークラフトを使って理解した。アイデアが詰まったゲートを是非注目して見て欲しい。（記者署名）

多く、また女性の社会進出が始まった頃ならではの単語もあった。若者の間では、今も昔も変わらず略語を好む傾向があるようだ。また、『ナウイ』は英語を含んでおり、英語教育が活発化し、世の中に浸透したと分かる。このように流行語から時代背景などを多く知ることが出来る。2面では、流行語以外にも当時社会現象となったウォークマンと現代のスマホを比べた詳細記事がある。（記者署名）

## 流行語で分かる時代背景

「1979」にちなんで



学校は社会の縮図だ」という言葉が一度は聞いたことがあるだろうか。哲学者J・デューイが同じようなことを言っている。デューイは『民主主義と教育』や『学校と社会』などの著作で知られ、教育者でもある。第一次世界大戦という時代背景の中で、民主主義の再建や社会改革の手段として学校教育を重視していた。デューイは教育の役割とは、子どもたちに社会をつくり直していく力をつけることだと説いている。そのために学校そのものを小型の「社会」、子どもの生活の場としての「共同体」にしていくことが大切だとした。